

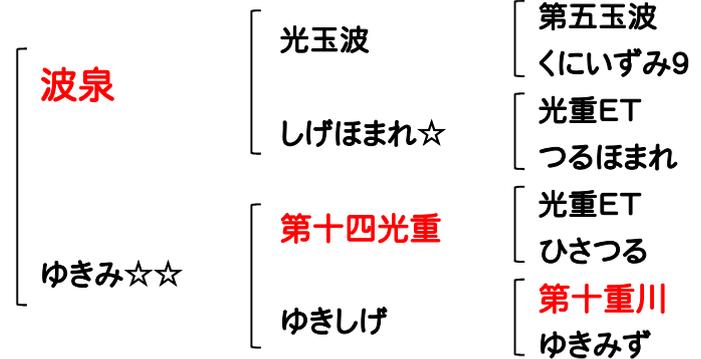
# 熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2015

ゆきいずみ

## 褐毛和種種雄牛「幸泉」の選抜



### 問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

### 問 本牛の特徴は？

答 脂肪交雑とロース芯面積の成績が歴代ナンバーワン！  
極めて優れた成績を持つ種雄牛であり、希少系統である重波系「波泉」の産子です。

### 【現場後代検定成績】

(単位: kg, cm<sup>2</sup>, cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3・4等級率)
去勢 14 頭	24.8	465.0	57.2	7.7	2.8	73.6	4.36	92.9% (13/14)
雌 1 頭	25.1	452.1	58.0	8.6	3.2	74.1	4.00	100.0% (1/1)

### 【産子の枝肉】



形質	程度	-1	0	1	2	3	4	程度	SBV
枝肉重量	小さい							大きい	-0.12
ロース芯面積	小さい							大きい	2.40
バラの厚さ	薄い							厚い	1.07
皮下脂肪	厚い							薄い	1.16
脂肪交雑	少ない							多い	3.07

### 標準化育種価 (SBV) とは？

育種価(遺伝的能力)を明確化した数値  
1を超えるとその特徴を持つといえる

畜産研究所 生産基礎技術研究室